

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/12/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.91	0.05
JPY/THB	0.2221	0.0000
USD/JPY	152.63	0.18
EUR/THB	35.51	-0.01
EUR/USD	1.0468	-0.0028
USD/CNH	7.276	-0.003
SGD/THB	25.19	0.01
AUD/THB	21.59	0.02
USD/INR	84.87	0.03
USD Index	106.96	0.25

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.093	0.010
10Y (THB)	2.322	0.002
5Y (USD)	4.183	0.049
10Y (USD)	4.328	0.057

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,687.5	-46.3
WTI (Oil)	70.02	-0.27
Copper	9,091.5	-100.5

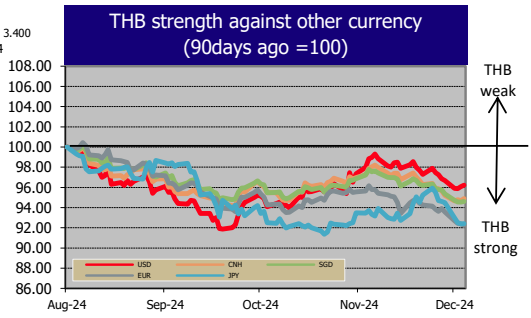
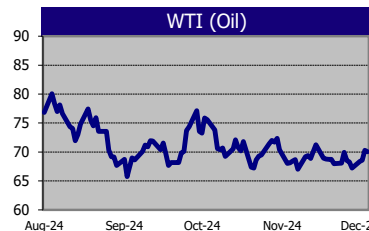
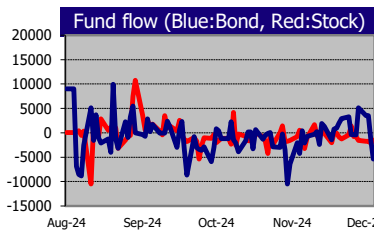
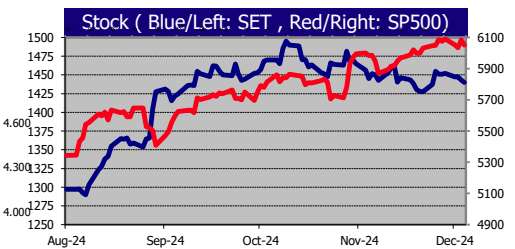
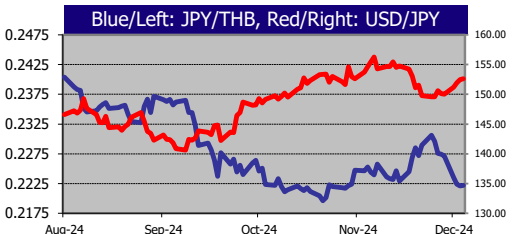
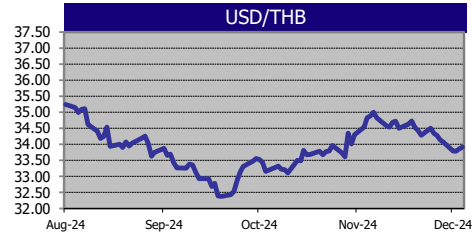
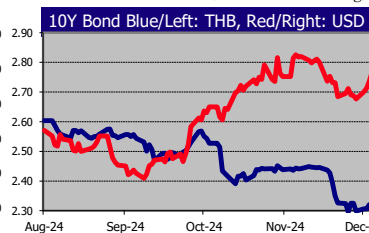
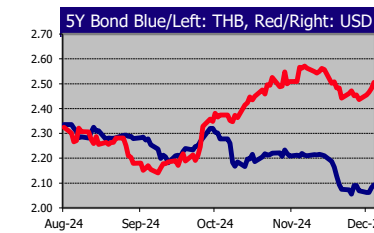
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,439.89	-3.16
NIKKEI (JP)	39,849.14	476.91
DOW (US)	43,914.12	-234.44
S&P500 (US)	6,051.25	-32.94
SHCOMP (CN)	3,461.50	29.01
DAX(GER)	20,426.27	27.11

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,528)	618.8
Bond net flow	(5,407)	-3660.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。33パーツ台後半でスタート。バンコク時間には同水準での売り買いが交錯。海外時間入り後、中国は財政赤字の比率を来年引き上げる方針を表明した他、利下げや預金準備率の引き下げを「適切な時期」に行うことが報じられると、人民元売りに連れて一時34パーツ手前まで上昇。しかしさらに上値を追う動きにはならず、33.91レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。152円台半ば付近でスタート。東京時間には今月の日銀会合における利上げ見送り観測が強まり、152円台後半まで上昇。一巡後は軟調に推移。NY時間朝方に発表された米11月PPIが予想を上回った一方で、同時に発表された米新規失業保険申請件数が市場予想対比増加したことが確認され、米金利の低下とともに一時151円台後半まで下落。一服後は米金利が上昇に転じたことを横目に値を戻す展開となり、152.63レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日開催された欧州ECB理事会では、予想通りの0.25%の利下げが決定された。同じく昨日スイスでは、フラン高抑制を狙いに市場予想以上の下げ幅となる0.5%の利下げが決定されており、また、中国でも昨日まで開催されていた中央経済工作会议において、25年は財政赤字比率の引き上げにより更なる刺激策を打ち出すと表明したことが報じられた。各国ともに金融緩和の道を一歩進めて、来週の米FOMC、日銀決定会合を迎える構えをとったことになる。来年は1月早々に米国でトランプ次期大統領の就任とともに、世界経済に与える影響が大きいとされる関税引き上げの発表が見込まれている。各国ともに自国経済への影響の検証が必要となり、利下げ判断を当初予定から先延ばしするような展開は十分あり得るほか、関税の米国自身への影響によって米利下げペースが鈍化、あるいは加速することも想定される。各国中銀は再び難しい舵取りを迫られる前に、できるうちに利下げ、緩和策を取っておきたいという懸念があったのかもしれない。そういう環境のなかで日銀はどうか。仮に来週の会合で利上げを見送ると、次は1月の判断となるが、その時期はまさに米国で追加関税が発表されるであろう日の数日後だ。そうなると市場では1月利上げにも懐疑的な見方が始まるだろう。円相場の変動に備える時間帯は想定よりも長くなるかもしれない。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.